

能

NOH



撮影：前島写真店

能の面白さ難しさについて、観世流の山中逐晶氏をゲストにお迎えし、能面や仕舞を間近で鑑賞しながら、じっくり紹介します。

令和
八年

1月17日(土) 14時開演

(開場は13時30分より)

会場 東海道かわさき宿交流館4階集会室
出演 喜多流シテ方能楽師 栗谷明生 観世流シテ方能楽師 山中逐晶
定員 当日先着100名(全席自由)
料金 1,500円(当日券のみ)

解説：ジャパノロジーミュージアム代表 山縣基与志

主催：東海道かわさき宿交流館 協力：公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

【栗谷明生プロフィール】

昭和30年生まれ。人間国宝・芸術院会員・故栗谷菊生長男。3歳で初舞台「鞍馬天狗」花見、8歳で初シテ「狸々」以後「狸々乱」「道成寺」「翁」「石橋」「景清」「卒都婆小町」を披露。栗谷能の会主宰。ハコロモ企画・平家物語のビデオ化で「月見の段」を能として収録。また「大和奈曲抄」五体風姿DVDに舞踊子「羽衣」に出演。平成20年3月栗谷能の会「道成寺」がNHK公開録画され放送される。演能及び能楽指導の傍ら、大阪大学・東北大学の能楽部、またモンドハラレッロ歌劇団への能楽指導にもあたる。重要無形文化財総合指定保持者 社団法人能楽協会会員

【山中逐晶プロフィール】

観世流梅若会所属能楽師。大阪市出身仙台南市在住。2歳で初舞台を踏む。京都造形大の非常勤講師を務めた後、梅若六郎家に入門。能の愛好家を育てる「緑蘭会」主宰。現代における能の可能性を求め、多彩に活動している。幼稚園から社会人まで、それぞれに向けたレクチャーも好評を博し、能を未来につなぐ、橋渡しとなっている。既存の能楽にとらわれない自由な発想と行動力で幅広く活躍し、現代における能の可能性を模索している。重要無形文化財総合指定保持者

次回
予定

江戸時代の粋に遊ぶ その65 「今様」

出演：日本今様謡舞楽会

令和8年4月18日(土) 14:00開演(開場13:30)

料金：1,500円(全席自由/当日券のみ/定員100名)

※開催日程は予告なく変わる場合がございます。予めご了承ください。

【交通アクセス】 JR 川崎駅 中央東口 徒歩約10分 / 京急川崎駅 徒歩約6分

〒210-0001 川崎市川崎区本町1-8-4

【TEL】044-280-7321

東海道かわさき宿交流館

